

梅雨明の 7 月 5 日土曜日、東洋英和女学院大学院同窓会は、東洋英和女学院大学大学院と協働し、六本木校地にて「東洋英和女学院大学大学院 修了生講演会・懇親会」を開催し、講演会 43 名、懇親会 32 名のご参加をいただきました。

講演会では、瀬川博子さん（人間科学研究科 2022 年博士課程修了、現東洋英和女学院大学死生学研究所客員研究員）による「“生きる希望”という観点から考察する終末期医療に対する高齢患者と家族の思い」として、高齢がん患者の終末期においても生きる希望は存在することについてお話しいただきました。

松本栄子さん（国際協力研究科 2012 年修士課程修了、現東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）による「米国の経済制裁の変容—経済相互依存の視点」として、米国の経済制裁は相互依存が進化し信用連鎖の構造が形成された金融市場において、強制力と基軸通貨の慣性が働く事で有効性を維持する仕組みとなっている事をお話しいただきました。

講演会の後は、隣接するラウンジで懇親会が開催され、ご退職された先生方や現役の先生方も参加し、集まった修了生は旧知を温めていました。また、近況報告では東洋英和女学院の学び舎に思いを馳せながら、お互いの絆を深めていました。

この度の機会を通じて、東洋英和女学院大学大学院での熱意と意欲に満ちた院生と切磋琢磨した経験、素晴らしい恩師のご指導、心温かい職員の支えを受けながらの学生生活を振り返ると共に、改めて、東洋英和女学院大学大学院は、高い問題解決能力を持つ高度専門職業人・社会人を育成することを目的に、広く社会に門戸を開いた大学院である事を感じました。

大学院同窓会